

★第10回TOSS全国1000会場一斉セミナーin福井★

感動のどつまど劇

荒れる学校(学級)と
荒れない学校(学級)
どこが違うのか!

2月18日(土) 第1部 14:00-16:00 福井教育センター

14:00-14:50

講座1 荒れた学年の弱さ、情けなさ!と 荒れない学年の強さ!

講座2 荒れた学級を立て直す最初の一步

15:00-15:50

講座3 学年づくりへと続け!学年を引っ張る学級づくり!

講座4 荒れた学年の生徒は何を求めていたのか!

《資料代》 第1部:学年・学級経営 1,000円 第2部:部活動 1,000円
ただし、両方参加の場合は、1,500円とします。

中学部活動セミナー

あと、一步!

小さな差が
勝敗を分ける

2月18日(土) 第2部 16:30-18:20 福井教育センター

16:30-17:20

講座1 子どもをその気にさせる、日本3位の指導

17:35-18:20

講座2 私にとって、小さな差は、超えられない大きな壁だった

講座3 伝統(集団の教育力)が、壁を乗り越える!

《学級経営》西尾 文昭 e-mail : EZR03260@nifty.ne.jp

《部活動》西尾 文昭 e-mail : EZR03260@nifty.ne.jp

各会場共通申し込みフォーム

携帯サイト

<http://tossfukui.net/tosssday/sanka/>

<http://tossfukui.net/tosssday/>

教育のポータルサイト TOSSランド <http://www.tos-land.net/>



中学教師の生きがい!!

① 荒れる学校には理由があった!!

荒れる学校と荒れない学校のちがいは何か。校則も、先生方の取り組みも、家庭環境もほとんど違わないのに、片方の学校は荒れていて、もう片方の学校は落ち着いている。そういうことがある。不思議でならなかった。

あれほど落ち着いていた学校が、なぜ荒んでいくのか、不思議でならなかった。

教職員異動でキーマンとなった先生がいなくなったからだとか、時代の流れだとか、周期的に荒れるんだとか、いろいろ言われている。どれも正しい感じもするが、それだけなのかという疑問も残る。

たまたま、学年が荒れていくのを見た。他の学年だったが、年を追うごとにひどくなっていった。卒業式、返事は聞こえなかった。大きな声で返事をする生徒はいなかった。はっきり聞こえる生徒は数えるほどだった。BGMをかけると声が聞こえなくなると音量はほぼ0だった。校長先生と担任の生徒名を読み上げる声だけが響き渡った。

行事は何をさせても手抜きだった。やる気がなかった。年を追うごとにひどくなっていった。整列させてもなかなか並ばなかった。もちろん教師の話は聞いていない。大きな悪さはしなかったが、何に打ち込むでもなくだららと過ごしていた。いつまでも起きないから遅刻者が増える。寝過ごしてしまう生徒もいる。だから学校を休む生徒が増える。勝手に鍵を恐し屋上に上がる。授業中寝る。授業をさぼる。コンビニに立ち寄り買い食いをする。悪いと思っていない。普通の子がする。もちろん、宿題はしない。自分勝手なルールが蔓延していた。

形式的な指導だけがなされた。担当教師は早く卒業すればいいと考えていた。後の学年への影響など全く考えていなかった。時が早く過ぎ去ることだけを考えていた。

荒れた原因は、はっきりしていた。

② 中学教師の生きがいを語る

今年度も中学TOSSDAYでは、感動のある講座を目標にする。

- (1) 学級経営：荒れとの戦い
- (2) 教師の意気込みを語る黄金の3日間
- (3) 別れの授業、別れにしかできない教育
- (4) 生徒指導の基本：ほめて育てる
- (5) 生き方を語る生徒指導
- (6) 温かさのある特別支援教育

ただ基本を語るだけではなく中学校教師にしか味わうことのできないダイナミックさや熱さや涙を伝える。中学校教師をやってきてよかったと思えるドラマを伝える。中学校教師は忙しい。子どもが難しい。帰りが遅くなる。しかし、それに見合うだけの感動があることも事実だ。そこを伝えたい。

今年度も参加者、講師、事務局、一体となり、中学教師で良かったと思える講座をつくりたい。※19日ちらしへ続きます。

18日(土)講座の紹介

学級経営：荒れる学校と荒れない学校 どこが違うのか

講座1：荒れた学年の弱さ、情けなさ！と荒れない学年の強さ！
俺ルールが蔓延し学年集団は烏合の衆となった。俺ルールを排除しながら新しい伝統を作り出した学年集団の実践をお話します。

講座2：荒れた学級を立て直す最初の一步
荒れた学級は弱い。根気強さや我慢強さが無い。自分を信じられないから、すぐにプライドが傷つく。教師が一言二言ほめたぐらいでは信じようとしない。このような生徒集団をどのように変えていったかを紹介します。

講座3：学年づくりへと続け！学年を引っ張る学級づくり！
伝統は子どもたちの中から生まれてくる。先輩から受けつぎ後輩へ伝えていく。それができる生徒集団を作ることが学年づくりだ。学級づくりをどのように学年経営につなげていくかをご紹介します。

講座4：荒れた学年の生徒は何を求めていたのか！
突然、ハグしてきた女生徒、いじめられた経験を話し出す男子生徒、どの子どもどの子も自分の思いを話し出した。問題のある子が、自分を語り出した。

部活動指導：あと、一步！ その小さな差が勝敗を分ける

講座1：強くする指導と強くなる指導！小さな差が生徒を伸ばす自分たちで強くなっていったんです。強いチームの監督のコメントだ。まるで選手が勝手に強くなったかのように話す。それは謙遜ではない、事実だと気づいたとき、指導観が変わった。

講座2：私にとって、小さな差は、超えられない大きな壁だった試合をするごとに点数差は縮まる。相手チームとの実力差は小さくなっていく。しかし、あと一步で勝てない。その差は何なのか。悩み抜いた1年間の指導についてお話します。

講座3：伝統(集団の教育力)が、壁を乗り越える！
伝統のある部は強い！分かっているが、作れない。見えない曖昧模糊とした伝統の正体を追い求め、作り上げた実践です。